

京都大学医学部附属病院 腎臓内科 臨床研究に関する情報の公開

作成日: 2014/06/13

研究課題名	エンドトキシン吸着療法の中心静脈圧低値の症例に対する有用性
研究方法	<input type="checkbox"/> 臨床試験 <input checked="" type="checkbox"/> 観察研究（診療情報を用いる研究） <input type="checkbox"/> 観察研究（診療情報・試料を用いる研究） <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究責任者	京都大学医学部附属病院 腎臓内科 塚本 達雄
医の倫理委員会承認番号（初回承認時期）	E2153（2014年5月28日承認）
研究期間	診療録の検索期間として2008年5月から2013年4月まで
研究目的	敗血症性ショックはしばしば救命が困難な重篤な病態となりますが、治療としてエンドトキシン吸着療法が有効であり多くの施設で行われています。しかしながらその治療費は膨大となることが問題です。また、どのような症例に対してエンドトキシン吸着療法がより効果的であるかはわかっておりません。このため我々は、過去にエンドトキシン吸着療法を受けられた方の診療情報を調査するというこの臨床研究を通じて、どのような方や病態でこの治療がより効果的であるのかを明らかにすることで、敗血症性ショックになった方々のより効果的な治療方法を提案したいと思っています。
研究概要	2008年5月から2013年4月までに京都大学医学部附属病院および京都第二赤十字病院でエンドトキシン吸着療法を受けられた患者さんの過去の診療録から必要なデータを抽出し解析いたします。必要な情報は、年齢、性別、身長、体重、エンドトキシン吸着療法を受けられた際の血圧、中心静脈圧、慢性心不全および慢性腎不全の有無などです。
倫理面での配慮 個人情報保護の方法 など	この研究は疫学研究に関する倫理指針（文部科学省）を守って行います。本研究で得られた患者さんの診療記録や検査結果といった個人情報は厳重に保護し、患者さん個人が特定されないよう連結可能匿名化を行うなど取り扱いには十分留意します。また、今回収集するデータは本研究のみに使用します。 本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当者にお申し出ください。

結果の公表について	この研究によって成果が得られた場合は、国内外の学術集会・学術雑誌などで公表します。その際にも、ご提供いただいた方の個人情報が明らかになることはありません。
研究組織・共同研究機関	この研究は、京都大学医学部附属病院腎臓内科が主体となり、京都第二赤十字病院との共同研究にて行います。
研究の問い合わせ先及び研究参加辞退のお申し出先	京都大学大学院医学研究科 腎臓内科学 山田 博之 〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54 TEL : 075-751-3111(代)
研究者からの一言	本研究によりエンドトキシン吸着療法がどういった方により効果的であるか解明に結びつけられるように努力し、治療の難しい敗血症性ショックの患者さんをひとりでも多く救命できるようになればと考えています。本研究へのご協力を是非ともよろしくお願い致します。
関連する研究番号と課題名	なし